

授業科目	保育内容「表現（身体・音楽表現）」（CD クラス）				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21307J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	子どもの発達に即した豊かな感性を育む表現遊びの重要性について教授し、多くの具体的な楽曲を用いて実技演習を行う。音楽表現を発表の場につなげる道筋を学び、表現する充実感を体験する。「音楽の楽しさ」を教えることができる保育者になるために必要な音楽に関する知識、基礎的な技能を常に磨きながら教師自身も楽しむことができる表現遊びを実体験する。身体表現、手遊び歌、身近な楽器を使った音遊びなどをしながら、支援が必要な子どもとも共感し合える音楽表現の在り方を研究する。すべて遠隔授業で実施する。							
学生が達成すべき行動目標	1 子どもの発達段階に応じた表現遊びを体験する。 2 表現をより豊かにするために、いろいろな楽器の効果的な演奏方法を学んだり場面に合った即興演奏の基礎を身につけたりする。 3 音楽表現遊びを発表に発展させる手法を学ぶ。 4 支援が必要な子どもに寄り添った音遊び、表現遊びを研究する。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	50	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20	10			30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			30	30			60	
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
様々な音楽表現遊びの実践的指導が見いだせる。				発達段階を考慮して、様々な音楽表現の楽しさを感じることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:オリエンテーション「身体・音楽表現とは」 授業の概要について説明し、目的、達成の目安、評価の方法と内容について解説する。	ガイダンス	うたあそびで学んだ曲を実際に鍵盤楽器で弾いたりして既習曲の振り返りをする。	60
2	テーマ:「領域・表現」について 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の音楽的な表現の内容について教授する。	講義・演習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の表現の内容 n の内容を書き出し、要点をまとめる。	30
3	テーマ:発達に即した表現 子どもの動きの獲得時期に適した題材について実例を示しながら解説する。子どもの発達と音楽表現について解説する。	講義・演習	発達に即した表現遊びについてまとめる。	30
4	テーマ:生活や遊びの中での音楽表現 既成の曲を使った表現あそびについて教授する。	講義・演習	遊んだことのあるわらべうたをかきだしたり、既習曲を実際に鍵盤楽器で弾く。	30
5	テーマ:歌うことを中心とした表現活動 生活や遊びの中の歌唱表現について考える。	講義・演習	子どもから引き出したい動きやイメージを書き出す。	30
6	テーマ:わらべうたを表現遊びに生かす わらべ歌の特徴を学び現場から見た音楽表現の取り組みについて学ぶ。	講義・演習	絵本の中に使われている印象的な繰り返し言葉について調べる。	30
7	テーマ:自然現象を表現遊びに 雪・風・波などをイメージを声や簡単な楽器で演奏する短い楽曲を創作する。	講義・演習	子どもたちに体験してほしい自然界の音について調べる。	30
8	テーマ:簡単な打楽器による音遊び フィンガーシンバル・フロアタム・オーシャンドラムなどを使ってイメージを膨らませる音の使い方を解説する。それらを劇の中に用いる方法を検証する。	講義・演習	身近な生活空間から音を出す素材を探す。扱った打楽器のただし演奏方法を図解でまとめる。グループ同士の発表について検討し合ったことをまとめる。	30
9	テーマ:様々な動きとリズム 子どもの動きを引き出す音作りをする。ピアノを使って拍子感を体得する演奏法を学ぶ。	講義・演習	学習した内容を子どもに実践できるようにする。	30
10	テーマ:支援が必要な子への対応 特に聴覚に障害のある子への音楽を使った働きかけについて、実体験に基づいた解説をする。	講義・演習	障がいについて他の授業での講義内容を振り返り、学習したことをもとに実際の支援の方法をまとめる。	30
11	テーマ:伝承遊びと表現 伝承遊び特有の音階について知り、それを生かした即興的な合奏について考えをまとめる。	遠隔授業	学習した内容を子どもに実践できるようにまとめる。	30
12	テーマ:身体表現遊びを保育に生かす なじみの曲や絵本の内容をもとにした劇遊びの脚本を書く。	講義・演習	物語性があり、場面が想像しやすい子どものうたを調べる。	60
13	テーマ:身体表現遊びを歌の世界に広げる 子どもの歌にせりふや簡単な効果を加えて音楽により表現の幅を広げる工夫を学ぶ。	講義・演習	軸になる曲について曲の構成、歌詞の内容などを詳しく調べる。	120
14	テーマ:ドラムジカの手法を学ぶ 子どもの歌を用いてドラムジカをグループで作成し演じる。	講義・演習	脚本を提出する。	120
15	テーマ:ドラムジカの発表、検討。	発表会	振り返りシートを作成する。	120
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常的に鍵盤楽器に親しみ、こどものうたに関心を持ち、たくさんの曲にふれてください。			
テキスト	「幼児の音楽表現―(こども音楽療育と聴覚障害支援教育を中心に)―末成妙子 著 白峰社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業で適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学んだ曲を必ず毎回復習し、自分のものにしてください。十分に表現することは子どもの心をときほぐし、安定した心情を育てます。表現を支える音楽の力を丁寧に身につけてください。			
達成度評価に関するコメント	発表の留意点、レポートの内容については授業で詳しく説明します。			

